聖化

2022.4.25
No.68

Japan Holiness Association

［発行］日本聖化協力会

大人である人はみな

日本宣教会　狭山教会牧師　小坂 嘉嗣

やがて主の前に立つ日が来ることを覚えながら神の国を目指して戦っているキリスト者は、次のパウロの言葉に慰めと共感を覚えるのではないでしょうか。「私は、すでに得たのでもなく、すでに完全にされているのでもありません。……兄弟たち。私は、自分がすでに捕えたなどと考えてはいません。……ですから、大人である人はみな、このように考えましょう」（ピリピ三章12～15節）。

ここで「大人である人」の大人は、原語では「完全な」とも訳すことのできる言葉です。ですからパウロは、「私は完全にされているのではありません。完全な人はこのように考えましょう。」と言っているのです。

「完全ではないけれども完全である。」私たちが、普段用いている言葉を使うならば、「きよめられていないけれども、きよめられている。」真実にきよめの信仰に立って歩もうとする時、このジレンマに悩むキリスト者は多いのではと思います。

キリスト者は、自分を全く神に捧げ、明け渡し、神のものとされているという転機としてのきよめの信仰に立つことはとても大切です。それが「大人である（完全である）」と言うことです。

しかし、「大人（完全）」であっても完全ではありません。意識的に故意に神に反逆して罪を犯すことからはきよめられ、心から神を愛し、慕う者とされたけれども、無意識に犯す罪は数限りなくあります。対人関係を通して自分の中にある歪み、弱さ、醜さに気が付いて泣いて神に悔い改めることがあります。目や耳から入ってくるこの世の誘惑に対して、あまりの脆さを感じて愕然とすることがあります。かつては自分を神に全く明け渡してきよめの信仰に立ったものの、月日の経過による環境や事情の変化によって、いつのまにか自我に固執して罪の闇に陥ることもあります。やはり完全ではないのです。どこまで行っても不十分なのです。

ですから、きよめの信仰に立った人は、ことあるごとに全き献身を告白し、へりくだって血潮により頼み、聖霊のご支配に身を委ね、うしろのものを忘れ、前のものに向かって走り続けるのです。それがきよめの信仰に立った人のあるべき姿です。未だ、神よりも自分の願い、思い、計画を優先して神のものとされたというきよめの信仰に立っていない人は、自分を神に全く捧げ、新しい一歩を踏み出すべきです。キリスト者の目当ては、地上的な成功ではなく、神の国にあるのですから。

もくじ

●巻頭言メッセージ…… p.1
● 2022年聖化フォーラム講演…… p.2-3
●きよめの証し …… p.4-5
●ブラウン博士紹介、2022 年講師 …… p.6
●事務局からのお願い …… p.7
●聖化大会日程、書籍案内、編集後記… p.8

おける「罪の性質」

参加いただくことができ感謝でした。テーマは聖化論における「罪の性質」。たいへん興味深いテーマで、講演後の質疑応答も盛り上がりました。講演をまとめていただきました。

罪の性質―ウェスレーの視点

イムマヌエル綜合伝道団　高津キリスト教会牧師
藤本　満 師

米国の神学者ラインホールド・ニーバーはその主著『人間の運命』の中で、罪は教会の歴史の中で二つの方向で理解されてきたと説明しています。一つに、東方教会の傾向は罪を「肉的な性質」（欲）と考え、初期には荒野の修道士を輩出しました。かたや西方教会はアウグスチヌスにはじまり、罪の根本を「高ぶり」と考えました。宗教改革者たちはそれを継承しました。

キリスト者の完全をもって、この高ぶりが除去できるとウェスレーは考えたのでしょうか。答えはＹＥＳであり、ＮＯでもあります。神の愛が心の隅々にまで及び、心の中に罪が存在していない状態をウェスレーは「完全」と呼びました。そのような状態は、御霊の働きによって瞬時的に体験できることをウェスレーは確信していました。

しかし、同時に、そのような状態を維持することが大変難しいことを彼は味わってきました。『キリスト者の完全』で、「全き聖化を体験した人々への７つの勧告」の第一は、次のように記されています。

「高ぶりに対して、絶えず警戒し祈りなさい。もし神が高ぶりを追い出されたのなら、再び入って来ないように心しなさい」――再び入ってくる！「自分は神によって十分に教えられたから、もはや人の忠告を必要としないと思うなら、高ぶりは門戸に伏している」

この高ぶりがどれほどやっかいなのか？ それは霊的な罪だからです。宗教家たちは、主イエスの教えの独特な権威、奇跡、人気を見て、ねたみを起こしました。自分たちの高ぶりを批判されると、イエスを抹殺することを正義感から計画し、神への忠実心からイエスを十字架へと追いやりました。

ウェスレーは、高ぶりの悲惨さ・罪深さをなんと、全き聖化のリバイバルの真っ最中に、しかも自分が管轄しているロンドンのソサエティーの中で体験しました。リバイバルは一七六〇年に始まります。六二年に自分が最初に起用した信徒説教者マックスフィールドが、自分は罪からきよめられ、誘惑さえ感じないと「罪なき完全」を主張します。そして、そのような体験をしていない説教者たちを批判しました。ウェスレーはマックスフィールドのような教えは「キリスト者の完全」を教理的にも体験的にも傷つけるものであると諭します。しかし、彼はウェスレーに反旗を翻し、離脱をします。ロンドンのソサエティーは分裂しました。

日本のきよめ派の最大・最高の指導者は中田重治でしょう。しかし晩年、彼の再臨理解、イスラエル理解をもってきよめ派は分裂へと追いやられました。霊的に優れた器でした。しかし優れているゆえに、彼に意見する人がいませんでした。いたとしてもそれを振り切るだけの力を彼は持っていました。これはただ「残念」で済まされることではありません。

彼の名前を挙げることができたのは、それでも彼の信仰、彼の霊的貢献の大きさを誰もが認めているからでしょう。だとしたら、名前を挙げることができない、高ぶりの罪は、キリスト者の完全を説く教会にあふれているのかもしれません。

高ぶりの罪から身を守る方法を神は備えておられます。高ぶりが門戸に伏していることを指摘してくれる友を持つことです。また格別に自分の魂が探られる聖会を大切にすることです。

特集 聖化論に

３月７日の日本聖化協力会評議員会の折りに第５回「聖化フォーラム」を開催しました。コロナ禍で集まることはできませんでしたが、オンライン開催で全国から

罪の性質―聖書神学的アプローチ

日本ホーリネス教団　池の上教会牧師
千代崎 備道 師

罪とは何か、という問いを考えるには組織神学や歴史神学からではなく、聖書神学的なアプローチから考えたい。ただ、聖書神学（特に旧約聖書神学）は未確定な学問であり、立場や個人により差異がある。

二十世紀の旧約神学運動から「旧約聖書神学辞典」（ＡＴＤなど）が作られ、辞書的な意味が分かれば旧約聖書が理解できると考えられたきたが、聖書の言葉の意味は文脈により決まり、実際にどう使われているか、実用的な理解が不可欠である。「罪」に関する用語には、ハタアー、ペシャアー、アウォーンなどがあり、辞書的な意味や翻訳例としては、罪、背き、咎などが挙げられるが、例えば詩篇五十一篇では、これらは類義語として用いられていて、旧約聖書での罪の語彙が多様多面な表現で語られている。

創世記などの物語的な叙述では罪の結果として罰が与えられる様を描いている。しかしレビ記では、同じ語根の言葉が罪の贖いのために献げ物として用いられている。レビ記四章3節では、ハタアト（罪）を犯した場合はハタアト（罪のきよめの献げ物）を命じている。神は罪を裁くと同時に赦しときよめを備えておられる。

預言書は倫理的な罪を糾弾するが、ホセア書が罪を「姦淫」と表現するのは、神と民との人格的な関係を犯すものとして罪を描いているからである。詩篇は罪の主観的な理解を深め、祈りと賛美の中で信仰者が罪に対して真剣に取り組んできた生き方が証しされている。箴言では「愚かさ」や「怠惰」などの語彙を用いて日常生活における罪を教えると共に、遊女のように人を誘惑する存在を描いて警告している。

旧約聖書における罪理解は、法律的な側面に限られず、具体的、教育的など様々な面から罪とは何かを教えていると言えよう。もちろん旧約聖書の限界として、キリストによる解決は未来のことであるが、預言を通して十字架の贖いという新約神学の土台へと道を備えている。

罪と関連して、罪からの聖化についても旧約神学は様々な形で述べている。モーセ五書では、神は罪人を恵みによってご自分のものとしようと、祭儀によって神との関係（礼拝）に招いている。預言書も、イザヤが自分の罪を認めたとき、神の側から聖化が与えられ、神は民との関係性を回復しようとしているのは、律法は祭儀的聖化、預言者は倫理的聖化と割り切ることはできないほどに、どちらも神からの恵みとして与えられる聖化への招きの方法である。

新約聖書でもパウロが聖化の法的な面、ヨハネは霊的な面を語っていると思えるが、どちらのアプローチもキリストによる聖化へと読者を導いている。

聖書は明確に、人間に罪があることを教え、罪の自覚へと導き、自ら神に聖化を求める道を示して、それを自分で選ぶように悔い改めへと導いている。旧約聖書では罪が豊かな表現で語られているのは、それを認めることで聖化へと進むことができるからであり、神のものとされる交わりが備えられていることと結びつけて受け止めることができる。律法が勧めるように、聖書と日々取り組み、罪と救いの神を学ぶなら、罪人を聖とする神の御業へと前進できるのである。

関東聖化大会を振り返って

聖化大会に育てられ

インマヌエル行徳駅前教会・安食教会 協力牧師
竿代 照夫

「EPAセミナー」から「聖化大会」へ

私が聖宣神学院に入学した頃（1967年）、毎年秋に「福音文書刊行会」（EPA）主催のセミナーが淀橋教会で開かれていました。小原十三司先生始め、国内外のホーリネス指導者たちが聖化の恵みを豊かにそして深く語ってくださることに感銘を受けました。神学院入学前後に聖化の信仰に立ったばかりの私でしたので、聖化セミナーで育てて頂いた感を深く持っています。もちろん、私たちの神学院では朝から晩まで「きよめ、きよめ」一点張りの生活でしたが、セミナーを通して幅広い視点から聖化の信仰が養われたように覚えています。

1985年に発足した「聖化交友会」がセミナーを引き継ぎ、「聖化大会」として毎年10月第三週に持たれることとなりました。私自身は宣教師として1998年まで海外におりましたので直接その恵みに与る機会がありませんでしたが、帰国後聖化大会に触れ、フレッシュな感動をもって、それ以後加わることができました。

色彩豊かな講師たち

大会の講師はそれぞれに、学識において、聖化体験と歩みにおいて優れた方々がおられました。更に海外講師は日本の教会への重荷と愛をもって語られますので、本当に「開眼」される点が多く、一年毎に「育てられて」来ました。帰国後間もなく、私も大会を運営する立場になりましたが、実行委員会に於ける交わりや、講師との交わりは、格別な恵みでした。

2001年には、トリニティ神学校でお世話になったロバート・コールマン博士が講師でした。余談ですが、その5年程前、氏と一緒にドライブしたことがあります。車が発進するや否や「兄弟、祈ろう」とおっしゃいました。「どうやって運転しながら祈るのかな」と不思議に思っていた私に構わず、目を開けてハンドルを操作しながら、あの課題この課題、あの人この人のために祈り続けて、目的地に着いたのです。「『天国人』とはこの人」と感銘を受けました。聖化大会でのメッセージも、天国から響く声のような威厳と暖かさに満ちたもので忘れられません。

2002年にはインドのカマレーソン博士をお迎えしました。彼ともインド留学時代お交わりを頂いたことがあるのですが、彼の講演の中で、聖化が文化にもたらす影響について語ったことが新鮮でした。

2003年には、英国からデニス・アップルビー博士をお迎えしました。同博士は、私たちがその下で奉仕していたWGM（ワールド・ゴスペル・ミッション）の「国際宣教師」として世界を回って「宣教師の牧師」をしておられました。私たちの色々な相談にも乗って頂きました。聖会では、イスラエルの「出エジプト→荒野の生活→カナン入国」を、クリスチャンが通過する信仰経験の譬えとして語られたことが印象的でした。

2011年には、フィリピン宣教師フロイド・カニンガム博士をお迎えしました。アジア文化を熟知し、そこに根付くものとしての聖化の恵みを語られたのが印象的です。

2012年の講師は、『神の物語』の著者マイケル・

ロダール博士でした。物語神学的な語り口で聖化を説かれました。

２０１６年には、「弟子訓練」で有名なアラン・カページ博士から、実践的な教えを頂きました。

２０１９年には、ワールド・ゴスペル・ミッション総理ヒューバート・ハリマン博士をお迎えしました。詩篇五一篇から「砕かれた心」について印象深く語られました。

ここ数年は日本人の講師が立てられていますが、聖化の捉え方がそれぞれの背景によって微妙に異なっていて、聖化の恵みの奥深さ、豊かさを味わっています。

30周年記念大会

特に忘れられないのは、２０１５年秋、聖化交友会発足30年記念大会にお出でくださったジョン・オズワルト博士です。オズワルト博士は、イザヤ書研究の泰斗としてきよめ派のみならず広く教界で認められています。余談ですが、１９９６年、私が宣教学を学んでいたトリニティ神学校のチャペルに、元教師としてオズワルト博士が招かれました。普段は（自由参加のため）パラパラという出席具合なのに、同博士の時は満席でした。

同博士は、１９８５年、ＪＨＡ発足の聖化大会講師でもありましたので、２０１５年の30周年記念大会で再びお招きしたという訳です。聖会1ではローマ一二章2節から「神に対する全き献身」について語られました。先ず、ローマ書全体の流れを掴み、そしてこの献身への勧めがその頂点であることを、明快に、力強く語られました。聖会2では、「全き愛」について、聖書全体から

「愛」に関する諸言語の解説に始まり、「アガペー」の用語、用法といった言語的解説に及び、締括りに、キリストに現れ、キリストが示された愛、そして、私たちの心に注がれる愛について語られました。特に「神は『愛のバプテスマ』をもって私たちの心を満たし給う」との締め括りが圧倒的でした。まさに「30周年」に相応しいメッセージでした。因みに、２０２０年にはケズイックでも尊い御用をされました。

神学校の交わり等

毎年の聖化大会におけるもう一つの楽しみは、神学生同士の交わりです。関東のきよめ派神学校の神学生が、聖会の一夜、合同コワイアを致します。とてもパワフルで恵まれます。その日の昼食時には、神学生の交わり会が持たれます。各神学校の紹介、賛美、寸劇などが披露され、実に暖かく楽しい交わりで、陪席する私たちも大いに恵まれます。聖化運動の原点はここだ、という励ましをお互いに感じる時です。

交わりという点から言いますと、集会と集会の間に、教職者の交わり昼食や、ＪＨＡの会員同士の交わりの時があり、これもまた楽しい時です。集会に出て顔を合わせるというだけでなく、お互いの恵みや課題を分かち合うこの交わりも、私たちの心を広げ、互いに与えられた使命を確認する貴重な時です。

この2、3年、コロナ禍のためにオンライン集会が続き、それはそれで恵まれますが、早くコロナが収束して、対面での交わりが再開されることを切望しております。

2022年秋の聖化大会　講師ご紹介

オンラインで開催します

ケビン・ブラウン博士

Dr. Kevin Brown

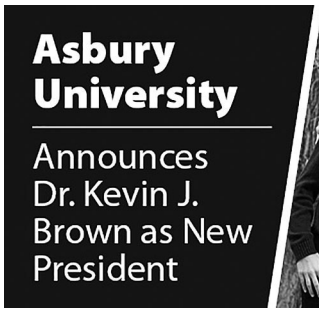
2022 年の聖化大会に講師としてお迎えするケビン・ブラウン博士についてご紹介します。ブラウン博士は 2019 年 5 月から米国ケンタッキー州にあるアズベリー大学の学長の要職に就いておられます。

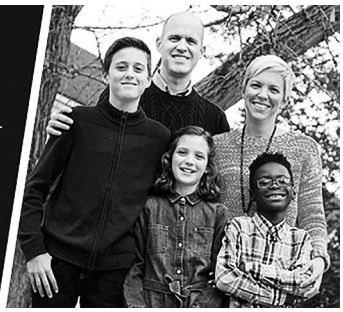
ブラウン博士の簡単な経歴をご紹介します。インディアナ州の州都にあるインディアナポリス大学で理学士と経営学修士を取得されています。スコットランドのセントアンドリュース大学で研究と論文執筆されました。その後、グラスゴー大学で博士号を取得されています。博士論文のテーマは「住宅統合の経済学と倫理」です。都市研究を中心に社会政治学を、さらに政治哲学に関わる批評学を兼ね備えた共同研究に基づくものです。

米国に戻り、ウェルズファーゴ銀行に 10 年ほど在職、マーケティング部門の責任者として 4 年間活躍しておられました。銀行を退任し、その後インディアナ州のアンダーソン大学で経営学の教鞭を執っておられました。

先生のご家庭は 5 人家族。余暇にはご家族や友人と過ごす時間を大切にし、ご家族と一緒に読書やポーツ、キャンプを楽しんでおられるということです。

ブラウン博士は、2018 年の聖会講師ヒューバート・ハリマン博士の娘婿でもあられ、ハリマン博士が聖会の講師として推薦してくださいました。





ケビン・ブラウン博士の聖会説教はYouTubeで！

2022 年秋の聖化大会は、オンラインでの開催になります

コロナウイルス感染収束の見通しが立たないため、3月のＪＨＡ全国評議員会において、ケビン・ブラウン博士をお迎えする秋の聖化大会はオンラインでの開催に決定しました。苦渋の選択でしたが安全を第一にしました。

例年、海外からの講師の場合は関東聖化大会から始まり、九州聖化大会まで順番に開催されます。そこで、ブラウン博士には、それぞれの聖会に合わせた説教を事前に収録していただき、通訳の部分を加えて YouTube で配信することにいたしました。

聖会の開催日程は事前にお知らせした通りになります。当日、時間になりましたら視聴できるように配信いたします。

ブラウン博士をお迎えする予定のなかった交友会でも、ぜひこれらの配信をお使いください。教会で、ご自宅で聖会の恵みに与っていただければ幸いです。

各地のオンライン聖会に神さまのご祝福をお祈りいたします。

JHA事務局からのお知らせ

★各交友会より最新情報のご提供をよろしくお願いいたします。日本聖化協力会宛にメールでお知らせください。
↓　kjha1985@aria.ocn.ne.jp

★「聖化誌」は原則的にPDF版でお送りしています。各教会で必要枚数を印刷して配布していただけましたら感謝です。データはHPからもダウンロードしていただけます。今後も年2回の発行を目ざします。

★日本聖化協力会の振替口座をお知らせします。ゆうちょ銀行　00180-2-281255「日本聖化協力会」です。

★首都圏はコロナウイルス感染のためにテレワークが続いています。お茶の水の事務所が不在の場合は、メールでご連絡をお願いいたします。

直次郎 事務処理の基本

©富無尽蔵

新刊書ご案内　ウィリアム・ユーリィ著（2004年聖化大会講師）

罪を負う人 ―キリストのように赦す―

赦しをテーマにきよめを語るとどうなるのか。私たちは毎日「主の祈り」を祈るたびにこの課題に向き合っています。「我らが赦すごとく」は正直な告白なのでしょうか。ユーリィ師は体験を交えて聖書的なきよめを語っておられます。

お求めはアマゾンに直接ご注文ください。紙本は1100円、キンドル電子版は500円です。

News

日本福音連盟（JEF）オンライン開催
福岡大会・総会のご案内

2022年6月21日（火）～22日（水）まで、福岡市で開催いたします。会場は日本イエス・キリスト教団 福岡教会。オンライン開催になります。事前登録が必要です。mail でお申込ください。jef2022.touroku@gmail.com

会場となる日本イエス・キリスト教団油山シャロームチャペル

続々と、電子書籍化を進めます！　Amazon Kindle ストアで発売中です

電子書籍第一弾、「エマオの道で」を販売中です。一昨年刊行された「聖化の説教 旧約編Ⅰ」「聖化の説教 旧約編Ⅱ」「聖化の説教 新約編」もすでに電子書籍として販売しています。Amazon Kindle ストアで検索してください。

2022年に開催される各地の聖化大会

北海道聖化大会	5/17、18	小坂 嘉嗣師	札幌クリスチャンセンター/配信
宮城聖化大会	9/19	斎藤 善樹師	青葉荘教会／Zoom
山形聖化大会	9/23	藤本 満師	COG酒田キリスト教会
栃木聖化大会	5/15	大頭 眞一師	日本イエス宇都宮共同教会
関東聖化大会	10/18	ケビン・ブラウン師	オンライン
遠州聖化大会	2023/2/13	鎌野 善三師	インマヌエル浜松教会
ウェスレーに学ぶ会	5/27	小暮敬子師/岩上祝仁師 畑野順一師/山下大喜師	日本フリーメソジスト岸之里教会 ／配信
備前聖化大会	10/23	渡辺多実樹師	未定
四国聖化大会			未定
九州聖化大会	10月後半		兄弟団福岡教会/配信

JHA 創立 30 周年を記念する画期的な刊行事業！

聖化の説教　全3巻（旧約編2巻、新約編1巻）

旧約編 I

定価 1,650 円（税込）

創世記からエステル記まで、聖書の英雄的な行動や惨めな失敗、信仰の輝きが…。

旧約編 II

定価 1,650 円（税込）

ヨブ記からマラキ書まで、知恵文学、詩歌、預言者によって語り継がれた聖化の恵み。

新約編

定価 1,980 円（税込）

新約聖書の各巻から 25 の説教で聖化の恵みに触れることができる待望の説教集。

お近くの聖化交友会にご加入ください

聖化交友会には教団、教会、個人でお加わりいただけます。聖化の恵みを私たちの心に、そして教会に、さらにお住まいの地域に広げていきましょう。詳細は各地域の聖化交友会にお問い合わせください。http://jha.christ.gr.jp/

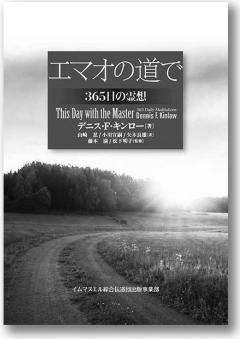
北海道聖化交友会／宮城聖化交友会／山形聖化交友会／栃木聖化交友会／関東聖化交友会／東海聖化交友会／ジョン・ウェスレーに学ぶ会／岡山聖化交友会／四国聖化交友会／九州聖化交友会

エマオの道で（改訂新版）

デニス・F・キンロー著

定価 3,750円（税込）

広くご活用いただいております『エマオの道で』が読みやすく改訂され再版されました。一年365日、まるで主が寄り添っておられるように、恵みのことばが身近に語られます。使用聖書が新改訳2017になりました。



編集後記

聖化 68 号をお届けします。国内のコロナ感染は横浜港に停泊したクルーズ船プリンセスダイアモンド号から始まりました。記憶を辿らないと思い出せないくらい、過去の出来事になってしまいました。あれから 2 年以上が経過して、コロナは依然として収束を見ていません。教会の活動はこの間に大幅な制約を受けてきました。この秋の聖化大会もさまざまな対策が取られて開催されます。これがニューノーマルになるのでしょうか。各地の聖化大会に神さまの恵みが豊かでありますようにお祈りいたします。原稿を執筆くださった先生方にはこの場をお借りして御礼申し上げます。（矢木）

聖化　No.68　2022 年 4 月 25 日発行

発行　日本聖化協力会　101-0062　東京都千代田区神田駿河台 2-1　OCC ビル　電話／ Fax 03（3293）5130
E-mail　kjha1985@aria.ocn.ne.jp　URL　http://jha.christ.gr.jp/　　編集担当：矢木良雄／錦織 寛